

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

3月の主な行事

- 3月 3日(木) 誕生会・ひな祭りのつどい
 8日(火) 工賃支給日
 12日(土) 土曜利用日
 17日(木) 内科検診
 31日(木) 年度末期末手当支給日

3月誕生月 おめでとうございます

佐藤静香さん 畠 海就さん 松浦広貴さん
 誕生月 おめでとうございます。
 誕生会は3月3日に行います。お楽しみに！

鬼を退治し福招く！



鬼めがけて豆をぶつける年男松浦利用者と、吉田理事長、中木所長（写真左から）

2月3日、節分の日、ほどはら授産所「節分のつどい」を行いました。

当日は午前の作業を早めに切り上げ、食堂に集まって中木所長から節分のお話を聞いた後、今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、鬼は食堂の外の出入り口から登場。今年の鬼は3人で、鬼の姿のパネルを持って現れました。今年の年男、松浦利用者と吉田理事長、中木所長が代表となって食堂の外出入り口から鬼めがけて豆をぶつけ鬼を退治しました。



美味しそうにお寿司をいただく利用者さんたち



吉田理事長もいっしょにいただきました

豆まきを終えた後は、お昼の給食の時間に合わせてすし竹さんからご寄付いただいた「節分のお寿司」の会食タイムです。密にならないよう利用者さんたちは無言で美味しそうに食べました。

今年も節分に合わせてすし竹様のお寿司をいただくことができ、利用者さんたちは大変喜んでいました。



鬼乱入！

お持ち帰り専門 すし竹様からお寿司寄贈受ける



鈴木店長様からお寿司を受け取る両施設利用者代表の皆さん

2月3日の節分の集いに合わせて、今年もお寿司のテイクアウトで人気があるすし竹様から、節分のお寿司のご寄付をいただきました。

当日は、だての郷ロビーで贈呈式が行われ、ほどはら授産所から利用者代表の松浦広貴さんと安藤秀子さん、だての郷から利用者代表の渡辺祥江さん、菊地晴美さんと後藤勝さんが出席し、赤橋店店長の鈴木敦さんからお寿司の贈呈がありました。式の中で吉田理事長から御礼のことばを申し上げました。毎年ご寄付いただいております。この紙面を借り、すし竹様に厚く御礼を申し上げます。

ほどはら授産所作業班 この1年 2021.4-22.3

令和3年度作業班の活動を報告します。
利用者の皆さん、お疲れ様でした。

農耕園芸班



花苗に肥料を与える利用者さん



納品を前に最終チェック！



出荷のため荷揚げする利用者さんたち



農耕園芸班の皆さん



花苗ポット再利用のためきれいに磨く利用者さんたち

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、不安を抱えて作業を行う状況が続きました。今年度は昨年度と違い、地域での花苗植栽活動も感染対策を行い実施するところが多くなりました。花苗栽培は、5月から6月のマリーゴールドや10月から11月のパンジーを中心に行い、受注販売もコロナ感染以前と比べても多くなり、植え替えや納品に追われる毎日でした。

恒例の「ほどはら花市」「あぶくま祭」は、コロナ感染の状況を踏まえて中止となりましたが、代替行事として、6月と10月に「花市ウィーク」を開催し、花苗や手工芸品の販売を行いました。来場者の混雑緩和のため、開催期間を6日間設け、マスクの着用や手指の消毒の協力をお願いするなどの対策をして、感染者を出すこともなく無事に終了しました。期間中は混雑することもなく、お目当ての製品を買い求める来場者があり、好評をいただきました。

寒暑風雨に加えて新型コロナウイルス感染症で落ち着いた環境の中、辛抱強く、作業に取り組んでいただいた利用者の皆さん、ありがとうございました。一日も早く、落ち着いた生活ができることを望み、令和4年度も、引き続き皆様のご協力をおねがい申し上げます。

(担当：佐藤典昭管理者)

手工芸班



手工芸班の皆さん



黙々と作業をする利用者さんたち



旅館のタオル袋詰め作業をする利用者さん



刺し子布巾づくりをする利用者さん



トイレトペーパー包装紙にスタンプ押印作業をする利用者さん

今昨年末から再びコロナウイルスの影響を受け、タオルの作業が少なくなっていました。そのこともあり忙しい班の手伝いを行うこともありました。

また、今まで苦手としていた刺し子の練習のための運針縫いを行う時間も得ることが出来ました。

年度末を迎え、この一年、利用者の皆さんは今まで苦手にしてきた作業においても挑戦していく気持ちと、班の枠を超えどんな作業にも挑戦する気持ちを再認識したように感じます。

コロナウイルスのため自粛ムードですが、コロナウイルスが撲滅した際は作業をたくさん行いたいと皆さん口々に言っております。

振り返ると、班の皆さんにとって「働くことが楽しい」と実感した一年でした。

令和4年度はより飛躍した年になるようにしたいです。皆様のご指導・ご支援よろしくお願いたします。

（担当：管野富江職業指導員）

段ボール班



仕切り組作業をする利用者さん



段ボール班の皆さん



仕切り組作業をする利用者さん



ボンドをつけて箱作りをする利用者さん（写真上下）



今年度購入したフォークリフトは
出荷時に大活躍しました

本年度の段ボール班は、コロナ禍での作業でしたが、皆さん体調管理・コロナ対策をしっかり行い、健康で一年の作業を頑張ることができました。

コロナ禍とはいえ、受注量は減ることがなく、むしろ例年より多かったのが幸いでした。経済状況の影響をあまり受けなかったとはいえ、多い時は、休憩時間を惜しんで取り組んだり、他の作業班からの応援を受けたりと臨機応変に対応できたことは良かったと思います。逆に注文がない時はみんなで少ない製品を分け合って協力して乗り切ることができました。このように大変波のある作業状況ではありますが、お互い協力・分け合い・譲り合う気持ちが随所に見られたことはある意味、新しい生活環境でも新たな「発見」があったと思います。これは技術や生産量よりも第一に大切な態度であります。この気持ちを忘れずこれからも作業に従事していただければと思います。

靴箱張り合わせを得意とする方、仕切りの組み立てが器用な方、材料のバリ取りを専門とする方、荷積み・荷下ろしに長けている方等、それぞれが自信の持てる作業に励んで技術を向上させて、意欲的に毎日の作業をこなし、工賃アップにつなげていけるよう来年度も期待しております。

（担当：木村光永目標工賃達成指導員）

リサイクル班



ベッド洗浄作業をする利用者さん



リサイクル班の皆さん



精密機器の部品を分解する作業をする利用者さん、専用ドライバーを使って、細かく部品を分類していきます（左写真4枚）

リサイクル班のメンバーのみなさん、一年間作業お疲れ様でした。

今年度リサイクル班は、主に電子、電気機器を分解して、素材毎に分別し納品する作業を行ってきました。コロナウイルス感染症の影響で作業量や作業内容が変わり新しい作業への取り組みで大変だったと思いますが、作業を進めながら慣れていき、的確に作業を進めてくれました。手早さと丁寧さが求められる作業でしたが、それぞれに努力して取り組んでくれました。

また、介護用ベッド本体と手すり部分の洗浄作業を行いました。汚れは色々な所にあり、狭い所や影の部分の汚れを丁寧に落とす大変な作業でした。ベッドを覗き込みながら汚れを見付け丁寧に洗浄することが出来ていたと思います。

得意な作業や取り組みたい作業で力を発揮しながらも、全員で協力して作業に取り組めたことが良かったと思います。

来年度も班のみなさんで協力して作業を進めていって欲しいと思います。よろしくお願いします。

（担当：鈴木信行主任）



～いつもの食事に **vegetable**～



株式会社メフォス福島第一事業部
福島支店第2課係長 佐藤 久美

朝晩の寒さはまだ残っていますが、日中は春の訪れを感じる暖かな陽射しの日が増えてくる時期です。季節の変わり目は体調を崩しやすいので衣類等で温度調節が出来るようにすると良いですね。

食べ物では体の調子を整えてくれる野菜をしっかり摂れるよう心がけましょう。不足しがちな野菜は少しの工夫で増やすことができますよ。



- * 毎食、野菜を使った料理を1品プラスしましょう。
- * 残った野菜は汁物に入れて具たくさん汁にしてみる。
- * 生ですぐ食べられる野菜を常備する。
- * 加熱してカサを減らすことで、たっぷりの野菜が食べらる。
- * 便利なカット野菜や冷凍野菜をフル活用する。(忙しい時にはこれ)

等

参考にしてみてください。とはいえ、中には野菜が苦手という方もいらっしゃると思います。そんな方は . . .

◎調理法を変えて

トマトなら野菜スープにしたり炒めたり（メニューの幅が広がります。）

◎バリエーションを増やす

いろいろな色や固さなど野菜の特徴で選んでみて。

◎旬の野菜を選んで！

旬の時期が一番栄養を豊富に含んでいます。旬ものは価格も安くなります。

◎おやつにin

蒸しパンやパンケーキ、クッキーに入れたり、野菜チップもおススメです。

2021 年度ももうすぐ終わり、4 月からはまた新しい年度を迎えます。
今年度も新型コロナウイルスの影響で、日々の情報に一喜一憂する日々が続きました。
もうしばらくコロナ対応も継続となるかもしれませんが、希望を持ってたくましく健康に
過ごしていきましょう。



開所1年になります！

よつばです

960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 だての郷内

電話 024-597-6039 FAX 024-576-7815

梅の蕾も膨らみ始め春の足音が近づいてきました。この冬は雪が多かったですね。

だての郷の 1 部屋で始めた相談支援事業、この1年で30名の利用者さんのご契約をいただきました。福祉サービスを利用するにあたって、利用者さんや保護者の皆さんの悩みごとや希望をお聞きし、調整して計画を立てるのが相談支援事業所の役割です。

利用者さんの日々の生活や保護者のみなさんの心配ごとをお聞きする中で、相談支援事業所の役割の大きさを感じております。行政機関や様々なサービス提供事業所との連携を密にし、必要な時に情報を提供しながら一緒に考えて行けるように、これからも努めてまいります。

何か気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談支援専門員 木村千賀子

グループホーム スクラムだより

グループホームスクラム この1年を振り返って

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外食体験会に出かけることや地域の行事等への参加がほとんど出来なく、利用者の方々は不自由さを感じていたと思います。また、新型コロナウイルスに感染しないよう日頃の手洗いや消毒、行動に気を付けることなど大変な面もあったと思います。このような中で、新年会、節分、花見、お彼岸、クリスマス会とホーム内での小さな催しを通し、季節の移り変わりを楽しんでもいただきました。

利用者の方々の生活を見ていく中では、お互いに思いやる気持ちや協力する心、自立心が高まる姿を見ることができ嬉しく感じています。共同生活では、他人との関わり方を身に付け、ルールを守り協調して生活することが必要となります。ストレスを感じる面もあると思いますが、今後も少しずつ経験を積み自立へ向けて頑張りたいと思います。

(サービス管理者 鈴木信行)

編集後記 令和3年度の年度末を迎えました。振り返ると今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、事業計画が大幅に縮小、行事が中止や変更になり、利用者さんにとって我慢の年となりました。よく頑張ったと思います▼あぶくま福祉社会福祉充実計画のメイン事業となったほどは授産所の農耕園芸用大型ハウス建設は、大雪に悩まされながらも完成に向け急ピッチで進んでいます。ハウス完成後も給水・電気工事を行い、新年度さらに周辺の整備を授産所の事業として行う予定です。引き続き、皆様のご支援ご理解よろしくお願いします▼節分の集いに際し、すし竹様から今年もお寿司いただきました。毎年利用者さんたちは楽しみにしており、美味しくいただきました。改めてすし竹様に御礼を申し上げます▼現在、新年度に向け事業計画案と予算案の編成が大詰めに来ています。施設設備の更新と充実した就労支援活動ができるようお願いを込め作業を進めています。今月開く理事会、評議員会で議決を受け、来月号で皆様に新年度事業計画と予算の概要をお伝えできるものと思います▼中瀬町町内会の皆様には会員に交えていただきありがとうございます。会長さんと班長さんには配付お世話様でした。皆様、新年度もよろしくお願いいたします▼結びに、令和3年度ほどは授産所ほどはら通信を1年間ご愛読いただきありがとうございました。施設と保護者の皆様をつなぐ架け橋として、引き続きよろしくお願いいたします。(M)